

# 令和3年度伊予市社会福祉協議会事業報告書

伊予市社会福祉協議会は、令和3年度の事業計画に基づき、重点目標を次の3点として社会福祉の推進に取り組みました。

## 【重点目標】

1. 包括的な相談支援体制づくり
2. 住民主体の地域福祉の推進
3. 在宅福祉サービスの充実

なお、法人運営事業をはじめ、実施した事業の主な内容は以下のとおりです。

## 《社協運営事業》

### 1. 法人運営等事業

※決算区分No.1~3

#### 【事業内容】

理事会及び評議員会の開催並びに監査の実施等により、社協運営の発展と事務事業の適正化を図るとともに、福祉活動専門員による各種課題解決への取り組みや関係諸団体の活動支援、社協会員・会費についての啓発、社協だよりによる社協の取り組みの報告や各種事業のPR、また、新型コロナウイルス感染症対策の情報提供等を行った。

#### 【実績】

##### 1. 法人運営会議等

###### ①理事会

開催日 令和3年6月14日・6月29日・10月27日・12月8日・令和4年3月10日（書面決議）

場 所 伊予市総合保健福祉センター2階活動室

内 容 事業実績・決算、理事・監事選任候補者の推薦、評議員選任候補者の推薦、評議員選任・定時評議員会開催、上半期活動報告、補正予算、規程一部改正、事業計画・予算など

###### ②評議員会

開催日 令和3年6月29日・12月20日（書面決議）・令和4年3月26日（書面決議）

場 所 伊予市総合保健福祉センター2階活動室

内 容 事業実績・決算、理事選任、補正予算、事業計画・予算など

###### ③監 査

開催日 令和3年5月14日

場 所 伊予市総合保健福祉センター2階活動室

内 容 令和2年度事業実績・決算

④評議員選任・解任委員会

開催日 令和3年6月22日

場 所 伊予市総合保健福祉センター2階活動室

内 容 評議員の選任

2. 広報啓発

①広報誌「いよし社協だより」の発行（年6回、奇数月）

内 容 事業計画・予算、社協会員加入のお願い、事業報告・決算、共同募金や生活相談支援センターからのお知らせ、障害者相談支援センターからのお知らせ、民生児童委員から地域の皆さまへ、介護予防教室のお知らせ、ふれあい・いきいきサロンほか

②社協イメージキャラクターあいみん。の日の活動

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3. 地域福祉活動計画審議会の開催

①令和3年度第1回審議会

日 時 令和3年5月28日(金)午前10時30分から

場 所 伊予市役所 大会議室

内 容 伊予市地域福祉計画・伊予市地域福祉活動計画について  
市民アンケート調査の実施について

②令和3年度第2回審議会

日 時 令和4年1月21日(金)

場 所 伊予市役所 大会議室

内 容 伊予市地域福祉活動計画の推進状況についてほか  
※新型コロナウイルスのため中止、書面決議となる。

4. 法人連携会議

伊予市社会福祉法人連携会議

日 時 令和3年11月16日(火)午前10時から

場 所 伊予市総合保健福祉センター2階活動室

内 容 コロナ対策の現状と課題について、災害への対応について

5. 伊予市社協福祉まつり『あい・愛フェスタ』の開催

○式典、記念講演 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

《表彰》

民生児童委員、高齢者見守り員、ボランティア、共同募金運動功労者等への表彰状及び感謝状の送付

対象：18人、3団体、8広報委員区

6. 福祉機器の貸し出し 63件

車いす58件、ポータブルトイレ4件、バスボード0件、歩行補助器

- 1 件、シャワーチェア 0 件
7. 関係諸団体の活動支援  
 伊予市民生児童委員協議会  
 地区社協の活動支援  
 区長協議会 6 地区  
 ※新型コロナウイルスの影響により 2 団体辞退

## 《地域福祉事業》

### 2. 福祉サービス利用援助事業

※決算区分No.4

#### 【事業内容】

認知症や知的障がい・精神障がいなどで判断に迷い、適切な福祉サービスを受けることができない方に対し、専門員及び生活支援員による福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービスを行うことにより、できる限り地域で安心して自立した生活を送ることができるよう支援を行った。

#### 1. 業務範囲

- ①調査、支援計画の策定、契約など
- ②福祉サービスの利用援助
- ③日常的な金銭管理
- ④書類等の預かり

#### 2. 人員体制

- ① 専門員：2 人（社会福祉協議会職員）
- ② 生活支援員：2 人（社会福祉協議会非常勤職員）

#### 【実績】

- 利用者数 12 人（内訳：認知 1 人、精神 6 人、知的 5 人）
- 支援回数
  - 定期支援 延 194 回（月平均 16.2 回）
  - 相談援助 延 430 回（月平均 35.8 回）
- その他 問い合わせ等 9 件／12 か月

### 3. 法人後見事業

※決算区分No.5

#### 【事業内容】

認知症や知的障がい・精神障がい等で日常生活上の判断能力が不十分になった場合に、不動産や預貯金などの管理、福祉サービスに関する契約、遺産分割などで不利益をこうむることがないように、社会福祉協議会が成年後見人等となり保護・支援を行った。

**【実績】**

○受任件数 10 件

- ・補助 1 件 60 代 1 人 精神障がい（在宅）
- ・後見 9 件 50 代 1 人 精神障がい（長期入院）  
50 代 1 人 知的障がい（在宅）  
50 代 1 人 知的障がい（施設入所）  
60 代 1 人 知的障がい（グループホーム）  
60 代 1 人 知的障がい（在宅）  
70 代 1 人 認知証あり（入院中）  
80 代 1 人 認知症（グループホーム）  
90 代 1 人 認知症（特別養護老人ホーム）  
90 代 1 人 認知症（特別養護老人ホーム）

○訪問及び相談支援回数

- ・補助 159 回
- ・後見 776 回
- 合計 935 回 月平均 78 回

**4. 民生児童委員協議会運営事業**

※決算区分No.6

**【事業内容】**

民生児童委員協議会の事務局として、地域福祉活動推進の支援を行った。

**【実績】**

○正副会長会・役員会・監査

・正副会長会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・役員会

実施回数：12 回（毎月 1 回）

参加延べ人数：161 人

・監査

実施日：令和 3 年 4 月 9 日

内 容：令和 2 年度会計監査

参加人数：4 人

○総会及び臨時総会

・総会

内 容：令和 2 年度事業報告・収支決算について

令和 3 年度事業計画（案）・収支予算（案）について

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議

○主な研修会

- ・全体研修会

実施日：令和3年7月15日

内容：介護保険サービスについて

参加人数：102人

- ・県外視察研修等

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○その他

- ・みんな集まれ「にこにこ食堂」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・赤い羽根共同募金 事業所・法人募金活動への協力

- ・オピニオンリーダー養成講座に参加

- ・災害ボランティア養成講座

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・ほっとネットいよし（ふくしネットワークづくり検討会）への参加

## 5. 共同募金事業

※決算区分No.7

### 【事業内容】

令和2年度に地域の方々からいただいた「赤い羽根募金」を、児童・障がい者・高齢者支援などを行うボランティアグループや福祉団体等に助成し、また、社会福祉協議会が行う様々な福祉活動に活用した。

令和3年度に地域の方々からいただいた「歳末たすけあい募金」については、地域交流等のために有効利用した。

### 【実績】

1. 募金活動（愛媛県共同募金会伊予市支会で実施）

- ・赤い羽根募金

期間：令和3年10月1日～令和3年12月1日（3か月間）

- ・歳末たすけあい募金

期間：令和3年12月1日～令和3年12月1日（1か月間）

2. 募金使途

愛媛県共同募金会伊予市支会の配分計画を基に活用

- ・赤い羽根募金

（令和2年度にいただいた募金総額の約4割を愛媛県内で活用し、約6割を次のとおり活用）

ボランティア団体助成（18団体）

老人福祉団体助成（1団体）

障害児・者福祉団体助成（1 団体）  
 児童・青少年福祉団体助成（16 団体）  
 その他福祉団体助成（7 団体）  
 公募配分「ささえあい活動支援」（2 団体）  
 社会福祉協議会実施事業（卒寿記念品贈呈・広報発行・防災敷材整備 他）  
 ・歳末たすけあい募金  
 歳末ふれあいの集い（83 か所のグループで開催）  
 ちびっ子クリスマス会（13 か所の児童クラブで開催）  
 ひとり暮らし高齢者友愛訪問（544 名宅に訪問）

## 6. 生活福祉資金貸付事業

※決算区分No.8

### 【事業内容】

低所得者世帯等に対し、資金の貸付けや必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長並びに社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるよう支援した。

更に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、失業や給与の減少に伴い生活環境が変わった方に対しての特例貸付が令和2年3月25日から開始され、令和4年6月まで受付をすることになった。この貸付により生活再建を行い、また生活困窮者自立支援法に基づく各事業と連携し、より効果的・効率的な支援を実施することにより、生活困窮者の自立促進を図った。

（注）伊予市社会福祉協議会では、利用希望者の相談受付、申請手続きを行うのみで、資金貸付は愛媛県社会福祉協議会で審査、決定の上行になっている。

### 【実績】

○相談件数 延 322 件

内 訳

世帯種別：低所得世帯 14 件、生活保護世帯 13 件、その他 295 件

資金種別：福祉資金（緊急小口）123 件、福祉資金（小口以外）23 件、  
教育支援資金 7 件、総合支援資金 167 件、  
不動産担保型資金 2 件

○貸付件数 187 件

内 訳

資金種別：福祉資金（福祉費）1 件

福祉資金（緊急小口）66 件（うち特例貸付 60 件）、  
総合支援資金 120 件（全て特例貸付）

## 7. まごころ銀行事業

※決算区分No.9

### 【事業内容】

預託いただいた方の意思に沿って、一人ひとりが豊かで、お互いに支えあい、また、安全・安心で快適に過ごすことができる地域を目指し、各地区社会福祉協議会活動やボランティア事業等に預託金を活用した。

### 【実績】

預託状況

- ・香典返し等 17 件、計 637,944 円

払出状況（運営委員会の計画に基づく助成等）

- ・指定団体等への払い出し
- ・各地区社会福祉協議会助成金（市内 6 地区）

使いみち：地域ふれあい事業、敬老の家事業、給食サービス事業、紙おむつ支給事業 他

新型コロナウイルスの影響により 2 団体全額返金、1 団体一部返金

- ・災害見舞金（火事見舞 0 件）
- ・ボランティア関係事業

## 8. 生活困窮者自立支援事業

※決算区分No.10

### 【事業内容】

伊予市に居住する生活困窮者から個別に相談を受け、生活困窮者が抱える多様な課題の解決に向けた各種支援が計画的かつ包括的に行われるよう関係機関と連携し、生活困窮者の自立の促進に努めた。

### 【実績】

ボランティアセンター

- ・新規相談受付件数 107 件                      延べ継続支援者数 110 名  
うち、プラン作成件数 6 件

伊予事務所

- ・新規相談受付件数 40 件                      延べ継続支援者数 80 名  
うち、プラン作成件数 7 件

## 9. 心配ごと相談事業

※決算区分No.11

<b>【事業内容】</b>		
日常生活におけるさまざまな悩みごとに、専門的見地からアドバイスを行った。		
<b>【実績】</b>		
弁護士相談 65件	向井法律事務所所属弁護士 (ボランティアセンターで 毎月第1・3水曜日)	年金(2) 職業・生業(4) 住宅(3) 家族(8) 離婚(5) 財産(32) 事故(3) 苦情(4) 医療(1) 人権・ 法律(2) その他(1)
行政書士相談 4件	愛媛行政書士会松山支部所属 行政書士 (ボランティアセンターで 毎月第2金曜日)	相続ほか
税理士相談 25件	四国税理士会松山支部所属 税理士 (ボランティアセンターで 毎月第2・4火曜日)	税務相談ほか

## 10. 高齢者見守り員設置事業

※決算区分No.12

<b>【事業内容】</b>
概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者等に対し、定期的な見守りや相談支援を行うことで、不測の事故等を防止し、高齢者福祉の増進に努めた。また、研修会を開催し高齢者見守り員の資質向上を図った。
<b>【実績】</b>
<p>1. 高齢者見守り員</p> <p>見守り員数：93名</p> <p>対象者数：約530名</p> <p>活動内容等：友愛訪問</p> <p>関係各機関行事等への協力</p> <p>緊急時安心キットの配布</p> <p>定例会：各地区（伊予地区・中山地区・双海地区）で2か月に1回開催し情報交換及び関係事業の総合調整を行う。</p> <p>全体研修会：5月に「介護保険制度」、3月に「認知症高齢者との接し方」についての研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p>

## 11. ふれあい・いきいきサロン事業

※決算区分No.13

### 【事業内容】

地域の世話人が中心となり、集会所等を利用して高齢者のふれあいや交流の場を設け、レクリエーションや一緒に食事を楽しむことで、毎日の生活に変化をつけ、孤独感の解消を図った。

### 【実績】

#### 1. サロン数等

サロン数：66 か所

内訳：大平 2 か所、中村 11 か所、郡中 20 か所、上野 11 か所、  
中山 12 か所、双海 10 か所

実施回数：612 回／年

参加者数：延 9,643 人（平均 15.8 人／回）

#### 2. 世話人研修会

##### ・第 1 回

開催日：10 月 15 日

開催場所：伊予市総合保健福祉センター

内 容：交通安全講話・季節のモビール作り

参加人数：51 名

##### ・第 2 回

計画内容－予定日：2 月 18 日

内 容：お口のケア

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

## 12. ボランティア活動推進事業

※決算区分No.14

### 【事業内容】

新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの事業が中止となる中で、様々な機関と協働してボランティアの振興を図るとともに、感染対策を講じた上での講座の開催、広報誌及びホームページで情報発信などを行った。

### 【実績】

#### 1. ボランティアセンターの活動

##### ・ボランティア活動の相談・援助

相談件数・・・5 件

援助件数・・・4 件

##### ・ボランティア保険への加入手続き

ボランティア活動保険・・・25件  
ボランティア行事用保険・・・10件  
福祉サービス総合補償・・・3件

・ボランティア講座の開催

スマホ入門講座

開催回数（6回コースを3回）及び受講者数

7月開催コース・・・10名

11月開催（午前）コース・・・11名

11月開催（午後）コース・・・10名

ボランティア講座「たのしく学ぶSDGs」（計画日2月17日）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

災害ボランティア養成講座（計画日3月11日）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（計画日3月11日）

・イベント等の開催

家具転倒防止事業（計画日8月～9月）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

伊予市社協福祉まつり「あい・愛フェスタ」（計画日11月）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

・手話サロンの開催

開催回数

毎月第3月曜日 計7回

（4・5・8・9・2月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

延参加人数 22人

・ぽかりん☆サロンの開設（自主事業）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため伊予市総合保健福祉センターでの開催が長期間困難となったため、じゅらく生きがい活動センターで行っている通所サービスで移動サロンを開設した。

開設回数 6回

・広報啓発

広報誌「ぽかりん通信」の発行（年6回）

ボランティア活動情報の掲示

ホームページなどによる情報発信とボランティアの啓発

災害ボランティア研修会の開催

※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

・福祉教育

講師派遣・・・・・・・・・・・・・・・・小学校2校

車椅子及び高齢者疑似体験セット貸出・・・小学校1校

- ・ボランティア連絡協議会の運営  
伊予市ボランティア連絡協議会交流会  
開催日：11月26日 内子町  
開催場所：内子町  
参加人数：16名  
※ 総会及び広域松山圏ボランティア交流会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

- ・その他  
エコキャップやプルタブの回収、各種研修会（Zoom）等への参加 など

2. ボランティアセンターの施設利用状況

会議室等の名称：第1活動室、第2活動室、第3活動室、録音室、集いの場  
利用者数：延4,082名

### 13. じゅらく生きがい活動センター等事業

※決算区分No.15~17

#### 【事業内容】

介護予防事業を効果的・効率的に推進するため、介護予防支援の拠点施設として地域の特性に応じた介護予防事業を提供し、併せて市民の交流・憩いの場としての施設として各種事業を実施した。

1. 介護予防の普及啓発に関する事業

- ・認知症予防「スマイルクラブ」及び機能訓練「機能アップ教室」の実施
- ・レクリエーション活動、制作活動、運動機能を維持する体操、生きがいに関する活動及勉強会の実施
- ・地域包括支援センター等との連携による「家族介護教室」の実施
- ・マッサージチェア等の利用調整とリラックスできる居場所づくり
- ・広報誌及びホームページを活用した活動予定等の情報発信

2. 一般介護予防通所サービス事業

- ・通所サービスじゅらくの実施

3. 施設及び設備の維持管理

- ・地域グループ利用の受付及び管理
- ・施設の清掃及び設備・機器類の点検

**【実績】**

4月10日から5月31日まで、8月20日から9月30日まで、1月24日から3月14日まで（通所サービスのみ3月1日から再開）新型コロナウイルス感染拡大のため閉館。

1. じゅらく生きがい活動センター（開館日：月曜日から金曜日、祝日を除く）  
開館日数 150日、利用者数 9,670人（1日平均 64.5人）  
（上記の内、通所サービスについて）  
毎週火曜日と木曜日に実施  
実施日数 64日、利用人数 701人（1日平均 11.0人）
2. 双海生きがい活動センター（開館日：月曜日から金曜日、祝日を除く）  
開館日数 146日、利用者数 1,829人（1日平均 12.5人）
3. 下灘老人憩の家（開館日：月曜日・水曜日・金曜日（祝日を除く））  
開館日数 86日、利用者数 694人（1日平均 8.1人）

**《在宅介護事業》****14. 在宅介護支援センター事業**

※決算区分No.18

**【事業内容】**

在宅や地域生活をおくる上で援護を必要とする高齢者及びその家族等の相談に応じ、必要な保健・福祉・医療サービスが受けられるよう関係機関と連絡調整を行うとともに、介護予防や独居高齢者等の見守り、あるいは虐待などさまざまな課題の発見及び解決に向けた支援を行った。

**【実績】**

- ・相談者数 実人数 29人
- ・相談内容 介護保険 延 41件

**15. 徘徊高齢者 SOS ネットワーク（在宅介護支援センター）事業**

※決算区分No.18

**【事業内容】**

認知症高齢者の所在がわからなくなった場合に、伊予市、伊予警察署その他関係機関・団体等が一体となって早期発見・保護に努め、認知症高齢者を抱える家族が安心して生活できるよう支援した。

**【実績】**

- ・登録者数 24人（令和3年3月末現在）  
内 訳：伊予19人・中山1人・双海4人
- ・発動件数 0件

## 17. 伊予市子育て支援ヘルパー派遣事業

※決算区分No.21

### 【事業内容】

妊娠中及び出産後の母子並びに児童の養育について支援が必要である家庭に対し、家事や育児の支援を行うことにより、心身の安定と育児不安を解消し、養育者の負担軽減と安定した児童の養育を図れるようにした。

### 【実績】

相談－ 1 件      利用－ 2 件

## 18. 伊予市一般介護予防事業

※決算区分No.22

### 【事業内容】

市内在住の 65 歳以上の高齢者やその支援活動に関わる方に対し、要介護状態に陥ることなく地域で自立した生活が送れるよう、転倒予防、認知症予防などの介護予防のための知識の普及、啓発等を行った。

### 【実績】

#### 1. 認知症予防教室

- ・実施期間      令和 3 年 4 月 9 日～令和 4 年 1 月 7 日
- ・実施場所      伊予市総合保健福祉センター
- ・実施回数      8 回
- ・参加者数      延 45 人

## 《介護保険事業》

## 19. 居宅介護支援事業

※決算区分No.19・20・23・24

### 【事業内容】

介護支援専門員（ケアマネージャー）が要介護・要支援状態にある高齢者等に対し、可能な限り居宅において日常生活が送れるよう、本人や家族の希望、心身の状況に応じたケアプランを作成するとともに各種相談、介護サービス利用等の総合的な支援を行った。

**【実績】**

事業所名	介護支援専門員数	利用者数
伊予事務所	常 勤 3人	実人数 127人 (うち介護予防 1人)
双海事務所	常 勤 1人	実人数 49人 (うち介護予防 6人)

**20. 訪問介護事業**

※決算区分No.25~27

**【事業内容】**

ホームヘルパーが要介護者等の家庭を訪問し、出来る限り自立した生活を送れるよう食事、入浴、排泄などの身体介護や炊事、掃除などの生活援助を行った。

**【実績】**

## 1. 伊予事務所

訪問介護員数	利用者数	派遣延時間
常 勤 2人	要介護者 16人	3,754 時間
非常勤 12人	要支援者 31人	
計 14人	総合事業対象者 2人	

## 2. 中山事務所

訪問介護員数	利用者数	派遣延時間
常 勤 2人	要介護者 25人	4,275 時間
非常勤 6人	要支援者 10人	
計 8人		

## 3. 双海事務所

訪問介護員数	利用者数	派遣延時間
常 勤 2人	要介護者 26人	2,607 時間
非常勤 5人	要支援者 17人	
計 7人		

《障害支援事業》

21. 障害者福祉サービス・地域生活支援事業

※決算区分No.28・34

<b>【事業内容】</b>								
身体・知的・精神障がい者（児）が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した生活を営むことが出来るよう、入浴、排泄、食事の介助その他生活全般にわたる援助を行った。								
<b>【実績】</b>								
1. 居宅介護等事業 <span style="float: right;">（単位：人、回、時間）</span>								
	延べ人数	派遣回数	身体	通院身有	家事	通院身無	同行援護	時間合計
身体障害	102	1,241	243:30	32:30	835:00	1:30		1112:30
障害児								
知的障害	159	2,463	620:00	4:30	1222:30	76:30		1923:30
精神障害	301	3,030	388:00		1945:00	156:00		2489:00
同行援護	26	160					189:30	189:30
合計	588	6,894	1251:30	37:00	4002:30	234:00	189:30	5714:30
2. 地域生活支援事業								
障害種別	利用実人数	派遣延回数	派遣時間					
身体障害	1	1	3:00					
知的障害	1	11	11:00					
精神障害	2	165	100:30					

22. 障害者相談支援事業

※決算区分No.29～33

<b>【事業内容】</b>	
1. 一般相談支援事業	
(1) 福祉サービスの利用援助	
(2) 社会資源を活用するための支援	
(3) 社会生活力を高めるための支援、社会生活訓練プログラムの実施	
(4) ピアカウンセリング	
(5) 権利擁護のために必要な援助	
(6) 専門機関の紹介	
2. 障害者相談支援センター事業	
(1) 基幹相談支援センター等機能強化事業（障害者相談支援事業を円滑に実施	

し、地域の相談支援機能を強化するもの)

(2) 住宅入居等支援事業（賃貸契約による一般住宅への入居を希望しているが、保証人がいない等の理由により入居が困難な障がい者に対し、入居に必要な調整等を行う）

(3) 障害者虐待防止、障がい者の養護者に対する支援業務

### 3. 特定相談支援事業

特定・障害児相談支援、基本相談支援に加え、相談支援専門員がアセスメントを行い、障がい者の自立した生活を支えると共に抱える課題の解決や本人に必要なサービスの種類と利用量を的確に見極め、サービス等利用計画の作成と一定期間ごとの見直し（モニタリング）

### 4. 地域相談支援事業

障害者施設等に入居している障がい者又は精神病院に入院している精神障害者その他の地域における生活に移行するために重点的な支援を必要とする者につき、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談その他の支援（地域移行支援計画の作成・月2回以上の面談）

## 【実績】

### 1. 一般相談支援事業

○利用者数 258人（障がい者204人、障がい児54人）

○相談件数 1,118件（障がい者906件、障がい児212件）

○支援内容及び件数

- ・福祉サービスの利用等（192）、障がいや病状の理解（98）、健康・医療（101）、不安解消・情緒安定（72）、保育・教育（54）、家族関係・人間関係（85）、家計・経済（57件）、生活技術（147）、就労（129）、社会参加・余暇活動（22）、権利擁護（2）、その他（159）

合計 1,118件

### 2. 障害者相談支援センター事業

○関係機関定例会の開催

- ・相談支援事業者等定例会

期 間 令和3年4月～令和4年3月

回 数 9回

場 所 社協伊予事務所2階会議室

参加者 延べ73人

内 容 情報提供・情報共有、事例検討ほか

- ・障がい児福祉サービス事業者等定例会

期 間 令和3年4月～令和4年3月

回 数 2回

場 所 社協伊予事務所2階会議室

参加者 延べ34人

内 容 情報提供・情報共有・事例検討ほか

○障がい福祉サービス等事業者研修会の開催

期 間 令和3年4月～令和4年4月

回 数 1回

毎年5回を予定している。新型コロナウイルス感染防止にて2回を企画したが、蔓延防止措置にて1回となった。

### 3. 特定相談支援事業

○計画相談支援

件 数 499件（1件に対して内容が複数の場合あり）

内 容 利用支援（115件）、継続支援（266件）、初回加算（17件）、サービス提供時モニタリング加算（80件）、集中支援加算（35件）

○障がい児相談支援

件 数 313件（1件に対して内容が複数の場合あり）

内 容 利用支援（100件）、継続支援（145件）、初回加算（15件）、サービス提供時モニタリング加算（35件）、サービス担当者会議実施加算（4件）、集中支援加算（14件）

### 4. 地域相談支援事業

○地域移行支援・地域定着支援

件 数 0件 実績なし